

北条辻地区大規模雨水処理施設整備事業計画（松山市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>北条辻地区は、隅田川と八郎川に挟まれ、西側を伊予灘に面した、海岸沿いの標高の低い平坦地に古くから住宅が発展している地区であるため、近年の雨水量の増大について、雨水排水が円滑に行えず、床上や床下などの大きな浸水被害が多数発生したため、浸水対策が急務である。</p> <p>特に、平成29年9月の台風18号に伴う大雨では床上浸水11戸、床下浸水42戸、平成30年7月豪雨では床上浸水2戸、床下浸水46戸の被害が発生したほか、道路の冠水により、市民生活に多大な影響を及ぼしているため、早急に浸水対策を実施する必要性が高い地区である。</p> <p>なお、過去10年間で3回以上の浸水被害があり、延べ床上浸水戸数は13戸、延べ床下浸水戸数は121戸となっている。</p>
整備目標	<p>本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画における対象降雨：40.5mm/hr（1/10 確率降雨） ・ 目標とする理由：事業計画で設定している計画降雨（40.5 mm/hr）を適用 ・ ハード整備による整備水準の目標：40.5mm/hr（1/10確率降雨） <p>目標設定</p> <ul style="list-style-type: none">) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設5箇所の床上浸水を防止する。) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を20cmとし都市機能を概ね確保する。) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。) その他：特になし <p>ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none">) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により40.5mm/hr（1/10 確率）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップの活用促進に向けた広報活動と共に、自主防災組織等の地域防災力の向上を図り、地域住民による土のう設置など、被害をできるだけ最小限にとどめる。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (平成 29 年 2 月策定済み) ・ 策定予定 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水貯留施設の整備 貯留能力 5,000m ³ 及び付属するポンプ設備、流入渠、放流渠等一式
			下水道管理者以外	・ 該当なし
		ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの公表・広報活動 ・ 土のうステーションの設置
			下水道管理者以外	・ 洪水ハザードマップの公表・広報活動
	自助	ハード対策		・ 該当なし
		ソフト対策		・ 自主防災連合会防災訓練 ・ 「マイタイムライン」の作成 ・ 側溝の清掃

年度計画 (百万円)

名称	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
雨水貯留施設	103	584	314	20	1,021
計	103	584	314	20	1,021

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>< 事業評価の内容 ></p> <p>浸水被害の軽減便益：22.1 億円削減される。</p> <p>B / C : 2.4</p> <p>経済的内部収益率：7.2%</p> <p>< その他の定量的な効果 ></p> <p>都市浸水対策達成率：73.1% 79.0% (市全体)</p> <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップの活用促進に向けた広報活動を充実することで、住民の自主的な防災活動を促し、地域防災力を向上させる。</p>
放流先河川との調整状況	<p>放流先の河川については、流量に影響が無いことを河川管理者と確認し、同意を得られている。</p> <p>(晴天時に雨水貯留施設の雨水をポンプ設備により河川に放流するため)</p>
その他	

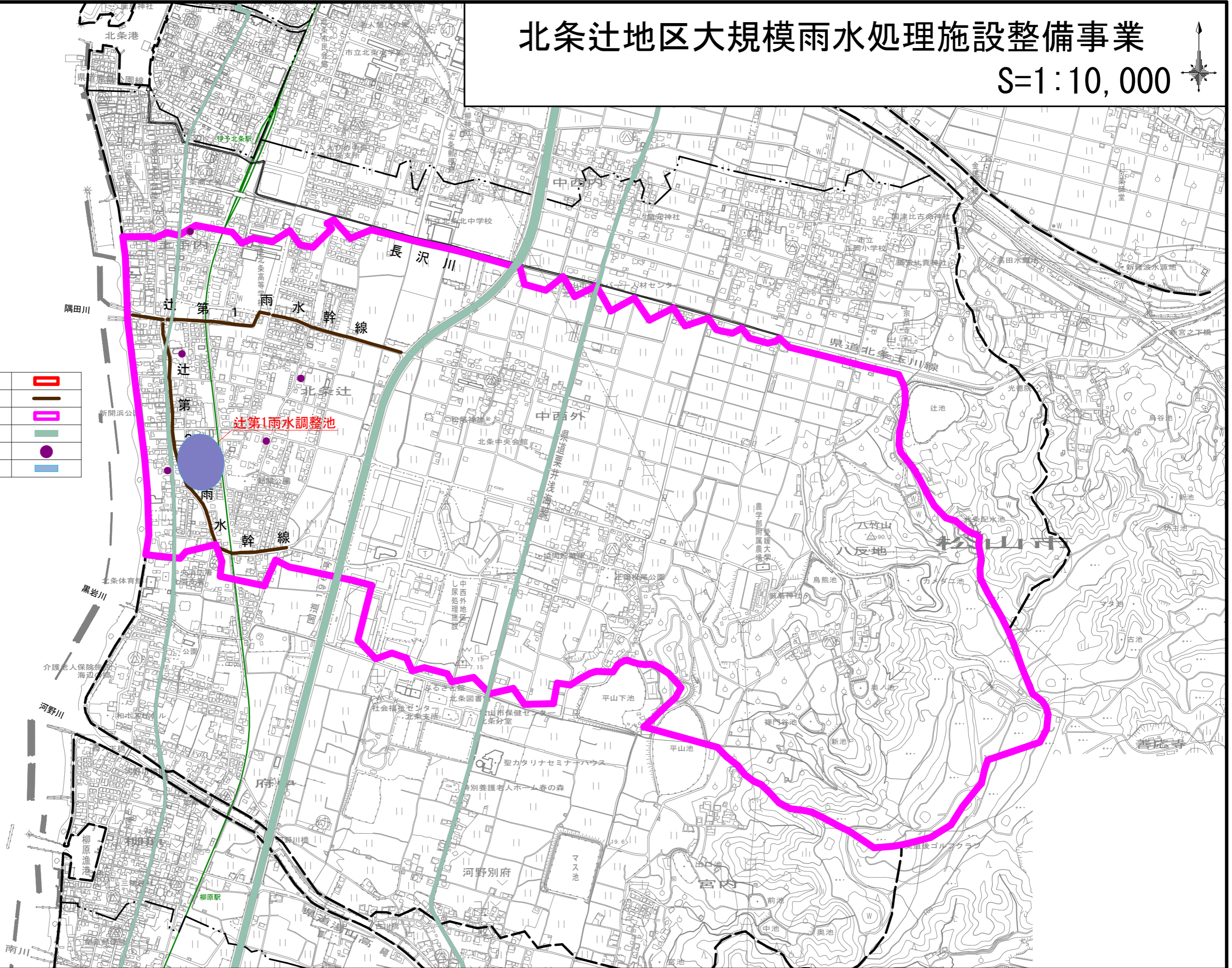
北条辻地区大規模雨水処理施設整備事業

S=1:10,000



【凡例】

貯留施設（計画期間内施工予定）	
雨水管渠（施工済）	
計画対象区域界	
緊急輸送道路	
要配慮者関連施設	
床上浸水被害の未解消地区	



北条辻地区 大規模雨水処理施設整備事業 (松山市)

北条辻地区では、平成29年9月に発生した台風18号(時間最大雨量42mm/h)等により、甚大な内水浸水被害が発生。

北条辻地区大規模雨水処理施設整備事業により、雨水貯留施設の整備を行い、計画降雨40.5mm/hの降雨に対して床上浸水被害の解消を図る。



事業概要

事業内容 : 雨水貯留施設の整備
V=5,000m³
全体事業費 : 約10億円 工事諸費等を含む
事業期間 : 令和5年度～令和8年度

■ : 平成29年9月台風18号による浸水範囲

本事業により整備

事業の効果

シミュレーション解析による
対策効果の検証

<平成29年9月台風18号の
浸水被害軽減効果>

浸水深0.45cm以上
0.1ha → 0.1ha
浸水深0～0.45cm
2.2ha → 0.9ha
B / C = 2.4

整備効果

対策前	対策後
0.1～0.45m: 2.2ha	0.1～0.45m: 0.9ha
0.45m～: 0.1ha	0.45m～: 0.1ha

床上浸水相当は解消